

「水いぼ」は、早めにとりましょう！



水いぼとはウイルスの一種（伝染性軟属腫ウイルス）が皮膚に感染することで、いぼができる病気です。7歳以下の小児に多い皮膚の感染症です。接触することにより感染する為、毎年プールが始まるこの時期になると話題になり、除去にくるお子さんが増えます。今回は「水いぼ」とはどのようないぼなのか、どのように除去するのかをお話をします。

Q1. 水いぼとはどんな病気ですか？

正式には「伝染性軟属腫(なんそくしゅ)」といい、伝染性軟属腫ウイルスによる皮膚の感染症です。このウイルスは人にだけ感染します。患者さんのいぼに触れることで、皮膚の小さな傷や毛穴から感染することによって発症します。水いぼは掻いてつぶれたり、自然に脱落したものが皮膚にくっついて、次々に広がってしまいます。プールの水ではうつりませんが、タオルや浮き輪、ビート板などを介してうつることがあるので注意が必要です。潜伏期間は14～50日くらいあると言われています。

Q2. どのようないぼ？

感染した皮膚に、水っぽい光沢のあるいぼができます。このいぼの中身は液体ではなくウイルスと変性した表皮からなる白い真珠のような塊です。

(右写真)



Q3. どんなところにできやすい？

手のひらや足の裏以外どこでもできますが、とくに腕の内側、肘や膝の関節、お尻などにできると自分の体でこすれるためたくさん増える傾向にあります。

Q4. 治療方法は？

数が少ないうち(5個以内)に専用のピンセット(図3)で摘み取るのがもっとも確実で早く治す方法です。他にも内服薬があります。正確な有効率は不明ですがひとつの選択肢になります。

健康な子どもでは1年～2年くらいで自然にとれることもあります。個人差が非常に大きく、大きな水いぼ200個以上できて来院するお子さんもいます。また皮膚の弱い子どもやアトピー性皮膚炎の子どもなどは感染すると湿疹を掻くので広がりやすく、さらにステロイド外用薬の使用で水いぼがさらに悪化することもあります。水いぼができたら、早いうちに除去することがおすすめです。

Q5. 水いぼのとり方は？

- ①電話で予約(水いぼとりと必ずお伝えください)
 - ②予約の1時間前に表面麻酔のテープ(ペンレステープ)を水いぼに貼る。(図1. 図2)
 - ペンレステープを貼ることにより除去する時の痛みが軽減されます。
 - 周りの皮膚をつまむので、水いぼの周囲まで覆うように貼ります。
 - ③水いぼとりは、時間枠を設けておりますので予約時間に遅れないようにお越しください
 - ④専用のピンセット(図3)で除去します
 - ⑤除去した日は消毒してテープやガーゼで覆って入浴はできません
 - ⑥翌日に除去後の皮膚の状態の診察と消毒を行います。
- *電話予約がない場合は実施できません

Q6. 1回でどのくらいとれますか？

1回で取れるのは30～40個ですので、数が多い場合には何回かに分ける必要があります。また、一度取り終えたあとに潜伏している水いぼができることがあるので、間をあけて再度取る場合があります。

(図1) ペンレステープ



(8等分にする)

(図2)



(図3)



*ペンレステープを貼る時は1枚に1個ずつ貼ってください
*貼り方が小さいと痛み止めの効果が得られません